

解決すべき課題

当社グループの事業活動

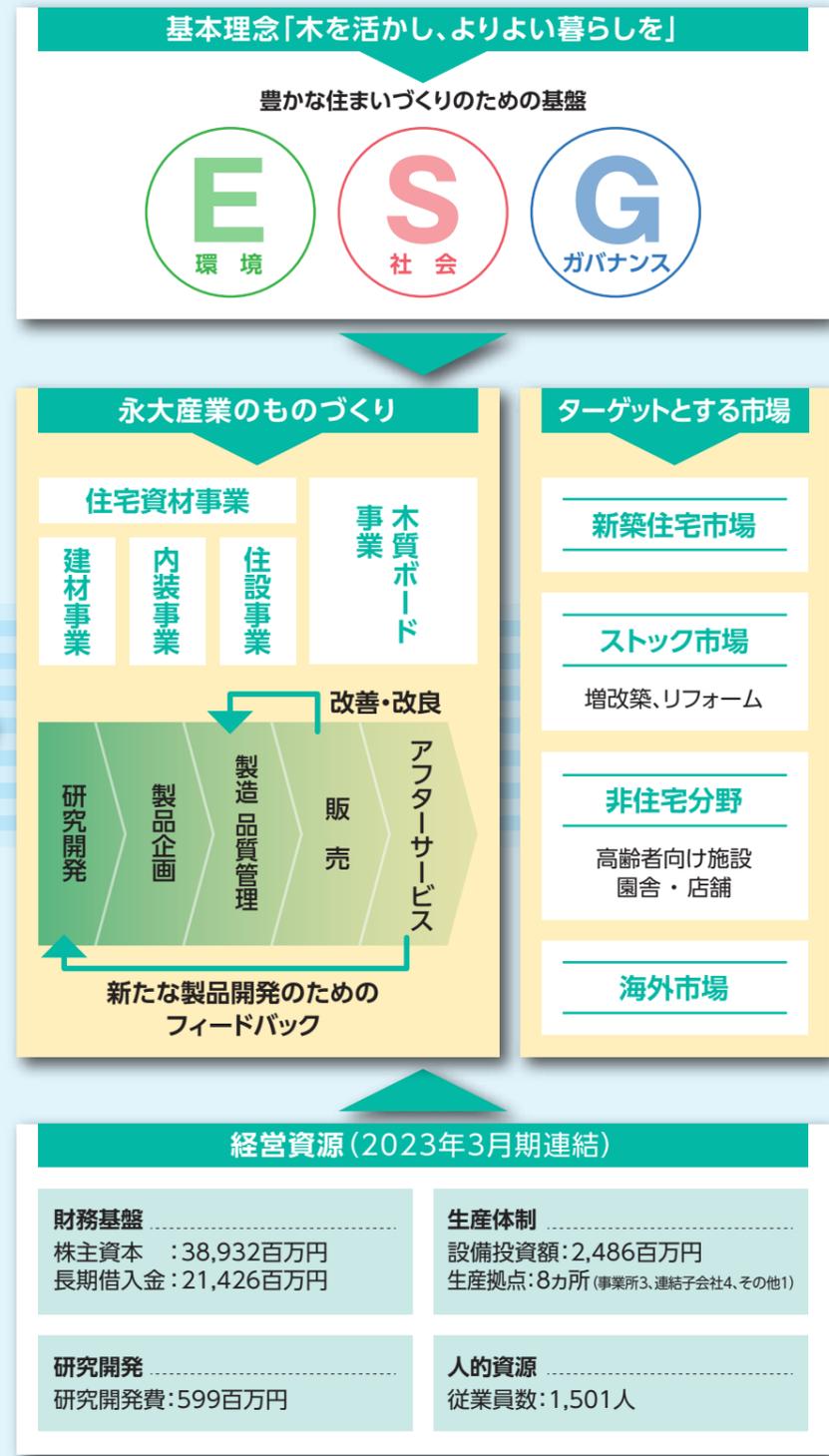
中期経営計画

2023年でのGOAL

■永大産業グループでは、様々な課題を解決するため、経営資源を活用しながらESGと関連付けた事業活動を推し進めています。

■当社グループでは、中期経営計画を着実に進め、2023年における目標の達成を目指しています。

- 気候変動による自然災害の激甚化
- 戦争、地域紛争がもたらす経済損失
- 天然資源の枯渇、減少
- 原材料、燃料価格の上昇
- 再生可能エネルギーへの移行
- 縮小する国内新設住宅市場
- 歯止めのかからない超高齢社会
- 人口減少に伴う地方の過疎化
- 技能労働者の担い手不足
- 持続可能な経営に対する要請



EIDAI Advance Plan 2023

経営基盤の強化と新たな価値の創造を通じて、すべてのステークホルダーと共存共栄できる企業へ

2023年3月期～2024年3月期

6つの基本方針に則した事業活動

- 1 お取引先様及びエンドユーザー様にご満足いただける製品品質とサービスの提供**
 - 品質管理体制の徹底強化
 - 市場ニーズを把握した販売政策の実行
 - 質の高い製品とサービスを提供
- 2 住宅分野でのシェアアップと新設住宅着工戸数に依存しない事業構造への転換**
 - 安全性に優れた魅力ある新製品の開発
 - プレカット製品の拡充
 - 非住宅分野の開拓
 - 海外における販売体制の構築
- 3 木質ボード事業の強化と拡大**
 - ENボード株式会社のフル生産の推進
 - 製品構成に構造用、フローリング基材用PBを加え、売上拡大と収益向上に注力
 - PBの新たな用途を開発
- 4 生産性の向上とグループ全体での生産体制の最適化**
 - グループ全体で事業継続マネジメント(BCM)を考慮した生産体制の最適化を推進
 - 自動化や作業負担軽減の推進による生産性の改善
 - 安定したサプライチェーンを構築
- 5 物流及び情報システムの改革を推進**
 - 物流拠点、物流経路の見直しを実施
 - 二次元コードを活用しさらなる効率化を実現
- 6 SDGsの取り組み**
 - 1～5の方針に基づく事業活動を推進し、ESGと関連付けた取り組みを行い、SDGsに貢献
 - 環境イニシアティブの取り組みを開始

- 顧客満足度を高めより安全安心な住まいづくりに貢献
- 「セーフケアプラス」製品群の充実により、どの世代も安心して暮らせる住空間を提案
- 海外での事業を発展させ経営基盤を強化
- 環境配慮型製品を生産し循環型社会の構築に貢献
- 国産材の積極的利用で国内林業振興に寄与
- 環境イニシアティブの活用と再生可能エネルギーの創出で脱炭素社会の構築に貢献
- ニューノーマルの時代において、職場内コミュニケーションの円滑化を図りながら、時間、場所に限定されない柔軟な働き方の運用継続
- 省施工型製品の開発、普及やオンライン営業支援システム(EDnet+)の活用により、労働力不足に対応
- 二次元コードを用いた新たな管理システムと基幹倉庫を活用し生産～物流のトレーサビリティを強化
- BCP/BCMに基づいた生産拠点の複数化により製品の安定的な供給体制を維持